

札幌時計台創建 135 周年記念特別展



北海道開拓に心血を注いだ

開拓使長官 黒田 清隆 展

会 期 / 平成 25 年 10 月 19 日 (土) ~ 10 月 31 日 (木)
会 場 / 札幌時計台 2 階ホール
主 催 / 一般社団法人 市友会、時計台まつり実行委員会
後 援 / 札幌市、札幌市教育委員会



19 内村鑑三追悼の言葉

黒田清隆伯逝く

余に深き感動なきあたはず。

余は齡十七にして伯がかつて開拓使長官たりしころ、

伯が設立せし札幌農学校に入りし者なり。

あゝ伯なかりせば農学校はなかりしならん、

農学校なかりせば余は札幌に行かざりしならん、

札幌に行かざりしならば余は聖書とキリスト教とに接せざりしならん、

もしこれに接しこれを信ぜざりしならば

余の今日の不幸と幸福とはなかりしならん。

伯の生涯と余のそれとの間には深き関係ありて存す。

一九〇〇年

思想家 内村鑑三著

この文章は、黒田清隆が没した際、
内村鑑三が、黒田清隆の死を悼んで書いたものです。

